

研究発表

口頭発表 1 (脳・神経) 5月29日(土) 10:30-12:00 会場 A

座長 渡邊 克巳 (東京大学)

O1-1 10:30-10:45

無視するように教示された音声に対する注意のそれ
事象関連電位を用いた計測

芳賀 繁 立教大学

O1-2 10:45-11:00

離人感の強弱と身体イメージ操作課題遂行中の脳活動に関する fMRI 研究

田中 茂樹 医療法人岡谷会おかたに病院
乾 敏郎 京都大学大学院情報学研究科知能情報専攻

O1-3 11:00-11:15

把持運動における皮質間のグレンジャー因果性の動特性

水原 啓暁 京都大学大学院情報学研究科
乾 敏郎 京都大学大学院情報学研究科

O1-4 11:15-11:30

視覚運動変換における内側頭頂間溝の座標系の解明

小川 健二 科学技術振興機構 ERATO 浅田プロジェクト
乾 敏郎 科学技術振興機構 ERATO 浅田プロジェクト
京都大学大学院情報学研究科

O1-5 11:30-11:45

複数物体の視点不変な認識を実現する神経回路モデル

樋口 靖晃 京都大学大学院情報学研究科
朝倉 暢彦 京都大学大学院情報学研究科
乾 敏郎 京都大学大学院情報学研究科

O1-6 11:45-12:00

心的回転に関わる脳内ネットワークの時空間特性

笹岡 貴史 京都大学大学院情報学研究科
水原 啓暁 京都大学大学院情報学研究科
乾 敏郎 京都大学大学院情報学研究科

口頭発表 2 (英語セッション) 5月29日(土) 10:30-12:00 会場 B

Oral Session 2, May 29, 10:30-12:00, Room B

座長 齋木 潤 (京都大学)

Moderator: Saiki, Jun (Kyoto University)

O2-1 10:30-10:45

Emotion

Brain regions associated with processing different emotions

Park, Mi-Sook	Chungnam National University
Sohn, Sunju	School of Social Work, University of Texas at Austin
Lee, Ok-Hyun	Chungnam National University
Suk, Ji-A	Chungnam National University
Kim, Sook-Hee	Army Substance Abuse Program, U.S. Army
Sohn, Jin-Hun	Chungnam National University

O2-2 10:45-11:00

Flashbulb Memories Modulated by Emotional Arousal in Korean Young and Elderly People:
Comparison of President Roh's Suicide and North Korea's Nuclear Crisis

Park, ChangHo Chonbuk National University

Park, MyungSook Chonbuk National University

O2-3 11:00-11:15

The Eyeglasses Illusion

Oh, Songjoo

Chonbuk National University

O2-4 11:15-11:30

Application of characteristics of human visual information processing to connoisseurship and visual aesthetic

Kim, Jeounghoon KAIST

Woo, Jung-Ah KAIST

O2-5 11:30-11:45

Brain response to unexpected events during simulated driving: A near-infrared spectroscopy study

Liu, Tao Graduated School of Information Science, Nagoya University

Saito, Hirofumi Graduated School of Information Science, Nagoya University

O2-6 11:45-12:00

The effect of age of acquisition and its locus in Korean: An eyetracking study

Yoon, Sojeong Seoul National University

Koh, Sungryong Seoul National University

口頭発表 3 (感情・記憶) 5月29日(土) 13:00-14:30 会場 A

座長 野畑 友恵 (福岡医療福祉大学)

O3-1 13:00-13:15

他者の人数が選好形成に及ぼす影響

布井 雅人 日本学術振興会

京都大学大学院教育学研究科

吉川 左紀子 京都大学こころの未来研究センター

O3-2 13:15-13:30

ポジティブ感情による認知的柔軟性の促進効果とエフォートフル・コントロールとの関係

石井 紀之 千葉大学大学院融合科学研究科

O3-3 13:30-13:45

未知顔記憶における暗闇と不安の相互作用

中嶋 智史 京都大学大学院教育学研究科

森本 裕子 京都大学大学院教育学研究科

吉川 左紀子 京都大学こころの未来研究センター

O3-4 13:45-14:00

記憶抑制における覚醒度の影響

本間 喜子 名古屋大学

川口 潤 名古屋大学

O3-5 14:00-14:15

長期的潜在学習における接触頻度の変化が単純接触効果に与える影響

石川 晋	山口大学大学院理工学研究科
松田 憲	山口大学大学院理工学研究科
田中 大介	鳥取大学地域学部
長 篤志	山口大学大学院理工学研究科
三池 秀敏	山口大学大学院理工学研究科

O3-6 14:15-14:30

直前の挿入課題が再認判断に及ぼす影響

Revelation effect のメカニズム解明

三浦 大志	慶應義塾大学
伊東 裕司	慶應義塾大学

口頭発表 4（動作・行為） 5 月 29 日（土） 14:30-16:00 会場 B

座長 森川 和則（大阪大学）

O4-1 14:30-14:45

MCL-3 を用いた系列的な到達把持運動後における快感情の定量化

山本 真史	京都大学大学院人間・環境学研究科
藤井 進也	東京大学大学院教育学研究科
	日本学術振興会
山下 大地	京都大学大学院人間・環境学研究科
小田 伸午	京都大学大学院人間・環境学研究科

O4-2 14:45-15:00

ピアノデュオ演奏における視覚的手がかりとタイミング調整

河瀬 諭	大阪大学大学院人間科学研究科
望月 愛	相愛大学音楽学部

O4-3 15:00-15:15

セルフモニタリングと笑いの社会性

共同視聴場面における主観的評価と行動の分析

南部 美砂子	公立はこだて未来大学システム情報科学部
林 佑美	公立はこだて未来大学システム情報科学部

O4-4 15:15-15:30

ユーモア漫画の閲覧がその後のストレス課題の遂行に及ぼす影響

高山 智行	近畿大学工学部
仲島 将	近畿大学大学院システム工学研究科

O4-5 15:30-15:45

けん玉操作における身体と環境の知覚的カップリング

伊藤 万利子	東京大学大学院学際情報学府
三嶋 博之	早稲田大学人間科学学術院
佐々木 正人	東京大学大学院教育学研究科

O4-6 15:45-16:00

統合失調型パーソナリティとラバーハンドイリュージョン

浅井 智久	東京大学
毛 竹	東京大学
丹野 義彦	東京大学

口頭発表 5 (社会・コミュニケーション) 5月29日(土) 16:30-18:00 会場 A

座長 芳賀 繁 (立教大学)

O5-1 16:30-16:45

他者視点からの適切な動作選択に関与する脳活動の検討: fMRI 研究

柴田 寛	京都大学大学院情報学研究科 日本学術振興会
乾 敏郎	京都大学大学院情報学研究科

O5-2 16:45-17:00

無線連絡受信後の鉄道運転士の注意特性

上田 真由子	西日本旅客鉄道株式会社安全研究所
久保田 敏裕	西日本旅客鉄道株式会社安全研究所
沖 覚	西日本旅客鉄道株式会社安全研究所
臼井 伸之介	大阪大学大学院人間科学研究科

O5-3 17:00-17:15

ウェブにおける情報探索活動と心理的特性との関連

—クチコミサイトにおける活動を通して—

久保 潤也	公立はこだて未来大学
南部 美砂子	公立はこだて未来大学

O5-4 17:15-17:30

トイレのマークは色が重要? (2)

トイレマークの認知におけるストローク様効果の比較文化的検討

北神 慎司	名古屋大学大学院環境学研究科
菅 さやか	東洋大学社会学部
Kim, Heejung	カリフォルニア大学サンタバーバラ校心理学部
米田 英嗣	日本学術振興会 ノースウェスタン大学教育学部・心理学部
宮本 百合	ウィスコンシン大学心理学部

O5-5 17:30-17:45

人形画像認知に見られる削除変化の優位性

安藤 満代	聖マリア学院大学
箱田 裕司	九州大学人間環境学研究院
北島 知佳	NTT 西日本

O5-6 17:45-18:00

看護業務における違反への潜在的態度測定を試み

安達 悠子	大阪大学大学院人間科学研究科 日本学術振興会
臼井 伸之介	大阪大学大学院人間科学研究科

口頭発表 6 (言語・推論・意思決定) 5月30日(日) 10:30-12:00 会場 B

座長 川口 潤 (名古屋大学)

O6-1 10:30-10:45

文理解における心的イメージと視点変換：fMRI 実験による検討

岩渕 俊樹	京都大学大学院情報学研究科
大庭 真人	東京工科大学
乾 敏郎	京都大学大学院情報学研究科
	科学技術振興機構 ERATO 浅田プロジェクト
小川 健二	科学技術振興機構 ERATO 浅田プロジェクト

O6-2 10:45-11:00

大学生の読解能力の分析

二瀬 由理	新潟国際情報大学
小野 陽子	新潟国際情報大学

O6-3 11:00-11:15

有意味文脈における認知的浮動の出現

伊藤 朋子	早稲田大学大学院教育学研究科
	日本学術振興会特別研究員

O6-4 11:15-11:30

第二言語読解における低次言語処理の認知負荷がテキスト記憶検索に及ぼす影響

森島 泰則	国際基督教大学
-------	---------

O6-5 11:30-11:45

偶発記憶に及ぼす自己選択効果と統合仮説

豊田 弘司	奈良教育大学
-------	--------

O6-6 11:45-12:00

人はなぜ賭けるのか

ギャンブルにおける制御幻想・満足感・熱中感

森川 和則	大阪大学人間科学部
片岡 咲	大阪大学人間科学部

口頭発表 7 (知覚・感性) 5月30日(日) 16:30-18:00 会場 A

座長 河邊 隆寛 (九州大学)

O7-1 16:30-16:45

「迫真性」の追求

本物らしさを定義する時空間情報

寺本 渉	東北大学大学院文学研究科 東北大学電気通信研究所
吉田 和博	東北大学電気通信研究所
日高 聡太	東北大学大学院文学研究科
浅井 暢子	東北大学大学院文学研究科
行場 次朗	東北大学大学院文学研究科
坂本 修一	東北大学大学院文学研究科 東北大学電気通信研究所
岩谷 幸雄	東北大学大学院文学研究科 東北大学電気通信研究所
鈴木 陽一	東北大学大学院文学研究科 東北大学電気通信研究所

O7-2 16:45-17:00

顔認知は理想方向にずれている

本間 元康	国立精神・神経センター精神保健研究所成人精神保健部 立教大学現代心理学部
小山 慎一	千葉大学工学研究科
長田 佳久	立教大学現代心理学部
栗山 健一	国立精神・神経センター精神保健研究所成人精神保健部

O7-3 17:00-17:15

物体運動の複雑性が生物性認知と視覚探査に及ぼす影響

松田 憲	山口大学大学院理工学研究科
黒川 正弘	山口大学工学部
興梠 盛剛	山口大学大学院理工学研究科
楠見 孝	京都大学大学院教育学研究科

O7-4 17:15-17:30

仮現運動知覚における空間参照枠の最適選択

朝倉 暢彦	京都大学大学院情報学研究科
乾 敏郎	京都大学大学院情報学研究科

O7-5 17:30-17:45

音楽聴取による感動の心理学的研究

感動に関わる聴取者の身体反応と情動の関係性

安田 晶子	同志社大学文化情報学部
-------	-------------

O7-6 17:45-18:00

日本人は声重視

顔と声による情動認知の文化間比較

田中 章浩

Tilburg University

早稲田大学高等研究所

小泉 愛

東京大学

今井 久登

東京女子大学

平本 絵里子

東京女子大学

平松 沙織

東京女子大学

de Gelder, Beatrice

Tilburg University

Massachusetts General Hospital and Harvard Medical School

口頭発表 8 (発達・加齢) 5月30日(日) 16:30-18:00 会場 B

座長 原田 悦子 (筑波大学)

O8-1 16:30-16:45

幼児の指差しの発達モデル：届かない目標への到達運動

竹村 尚大

科学技術振興機構 ERATO 浅田共創知能システムプロジェクト

乾 敏郎

科学技術振興機構 ERATO 浅田共創知能システムプロジェクト

京都大学大学院情報学研究科

O8-2 16:45-17:00

情動性知能，コーピングおよび表情認知の関係

小学校高学年における検討

小松 佐穂子

九州大学大学院人間環境学研究院

箱田 裕司

九州大学大学院人間環境学研究院

中村 知靖

九州大学大学院人間環境学研究院

O8-3 17:00-17:15

描画空間の決定

Williams 症候群と健常児のちがい

永井 知代子

JST ERATO 浅田プロジェクト

乾 敏郎

JST ERATO 浅田プロジェクト

京都大学大学院情報学研究科

岩田 誠

東京女子医科大学神経内科

O8-4 17:15-17:30

課題切替がもたらす促進効果と加齢

数字選択課題による検討

原田 悦子

筑波大学大学院人間総合科学研究科

浅野 昭祐

中央大学

須藤 智

静岡大学

ハッシャー リン

トロント大学

O8-5 17:30-17:45

自動車の運転に対する展望的記憶とその加齢変化の影響
一時不停止への影響の検討

高原 美和	株式会社豊田中央研究所
國分 三輝	株式会社豊田中央研究所
梅村 祥之	株式会社豊田中央研究所
武市 芳才	香川大学工学部
和田 隆広	香川大学工学部
土居 俊一	香川大学工学部

O8-6 17:45-18:00

加齢に伴う認知機能低下が情報機器の操作に及ぼす影響
券売機シミュレータの操作パフォーマンスと認知機能低下の関係

須藤 智	静岡大学
熊田 孝恒	産業技術総合研究所

ポスター発表 1 (感情・感性・記憶・言語) 5月29日(土) 10:30-12:00 大学院棟
ホール

責任在席時間 10:30-11:15 (奇数番号)、11:15-12:00 (偶数番号)

Poster Session 1, May 29, 10:30-12:00, Poster Hall

Authors must present during 10:30-11:15 (odd number) or 11:15-12:00 (even number).

P1-1

Classification of 7 different emotions using physiological signals

Sohn, Jin-Hun	Brain Research Institute, Chungnam National University
Yang, Heui Kyung	Brain Research Institute, Chungnam National University
Jang, Eun-Hye	Electronics and Telecommunications Research Institute
Park, Ji-Eun	Brain Research Institute, Chungnam National University
Noh, Ji-Hye	Brain Research Institute, Chungnam National University
Kim, Hyo-Eun	Brain Research Institute, Chungnam National University
Yang, Eun-Hye	Electronics and Telecommunications Research Institute

P1-2

Emotion

Relationship between facial electromyographic responses induced by humor and the level of depression among children

Jang, Eun-Hye	Electronics and Telecommunications Research Institute
Heo, Junhyoung	Brain Research Institute, Chungnam National University
Lee, Young-Chang	Brain Research Institute, Chungnam National University
Heo, Junhyoung	Brain Research Institute, Chungnam National University
Sohn, Jin-Hun	Electronics and Telecommunications Research Institute

P1-3

Habituation of P300 in P300-based Guilty Knowledge Test

Eom, Jin-Sup	Brain Research Institute, Chungnam National University Dept. of Psychology, Chungbuk National University
Eum, Young-Ji	Brain Research Institute, Chungnam National University
Lee, Chang-Kyu	Brain Research Institute, Chungnam National University
Park, Kwang-Bai	Dept. of Psychology, Chungbuk National University
Sohn, Jin-Hun	Brain Research Institute, Chungnam National University

P1-4

非言語音声における感情認知

Montreal affective Voices (MAV) の特性解析とその日加比較

平尾 沙央里	広島国際大学
荒生 弘史	広島国際大学
岩城 達也	広島国際大学

P1-5

覚醒系の香りが作業遂行と気分にあぼす影響

—事前情報および“効果”の既知性と作業の種類との関係—

後藤 靖宏	北星学園大学文学部
-------	-----------

P1-6

画像の美的評価における刺激の操作性と利き手による影響

興梠 盛剛	山口大学大学院理工学研究科
松田 憲	山口大学大学院理工学研究科
一川 誠	千葉大学文学部
中嶋 優	山口大学大学院理工学研究科（現 株式会社ニフコ）

P1-7

山高ければ谷深し

—対象のカテゴリ化における認知的困難度は不気味の谷現象を説明する—

山田 祐樹	九州大学大学院人間環境学研究院 日本学術振興会特別研究員
河邊 隆寛	九州大学大学院人間環境学研究院
井隼 経子	九州大学ベンチャービジネスラボラトリー

P1-8

作動記憶負荷が感情プライミングに与える影響

青林 唯	障害者職業総合センター
------	-------------

P1-9

単純接触による印象への潜在的影響

作田 由衣子	早稲田大学
伊師 華江	仙台高等専門学校
赤松 茂	法政大学
行場 次朗	東北大学

P1-10

視覚イメージに対する単純接触効果

井上 和哉	筑波大学大学院人間総合科学研究科
菊地 正	筑波大学大学院人間総合科学研究科

P1-11

ネガティブ単語記憶の抑制に対する方略の効果

小林 正法	東京大学大学院総合文化研究科 日本学術振興会
丹野 義彦	東京大学大学院総合文化研究科

P1-12

展望的記憶課題の課題モデルの複雑さが背景課題に与える影響

本間 涼子	京都大学教育学研究科教育認知心理学講座
齊藤 智	京都大学教育学研究科教育認知心理学講座

P1-13

展望的記憶課題の保持期間におけるマインドワンダリング

森田 泰介	東京理科大学
-------	--------

P1-14

実験配置による時間的不測性の違いが負のプライミング効果に与える影響

—その1—

水野 りか	中部大学人文学部
松井 孝雄	中部大学人文学部

P1-15

正導事後情報と誤導事後情報が目撃者の記憶に及ぼす影響

—参加者内比較—

名畑 康之	北海道大学大学院文学研究科
仲 真紀子	北海道大学大学院文学研究科

P1-16

事情聴取時に描画により記憶想起させることの効果と問題点

大上 渉	福岡大学人文学部
松本 亜紀	福岡医療福祉大学
大沼 夏子	九州大学人間環境学研究院

P1-17

発話の丁寧さが事後情報効果に与える影響

池田 和浩	山形大学人文学部
-------	----------

P1-18

環境的文脈の復元が目撃者の正再認と虚再認に及ぼす影響

山田 恭子	広島大学大学院教育学研究科
-------	---------------

P1-19

線画の反復再生における言語ラベルの効果

金敷 大之	畿央大学
-------	------

P1-20

自由再生における匂い文脈依存効果を規定する要因

酒井 徹也	静岡大学創造科学技術大学院
片山 優	静岡ダイハツ販売株式会社
漁田 俊子	静岡県立大学短期大学部
漁田 武雄	静岡大学情報学部

P1-21

偶発学習された単語の再認弁別におけるフォントの文脈依存効果

漁田 武雄	静岡大学情報学部
梶山 里実	明電ソフトウェア株式会社
酒井 徹也	静岡大学創造科学技術大学院
漁田 俊子	静岡県立大学短期大学部

P1-22

映像中の突発的な視覚的变化による記憶促進効果

大山 潤爾	東京大学 日本学術振興会特別研究員
渡邊 克巳	東京大学 科学技術振興機構 産業技術総合研究所

P1-23

意図学習された単語の再認における BGM 文脈依存効果

西村 孝太郎	静岡大学大学院情報学研究科
漁田 俊子	静岡県立大学短期大学部
漁田 武雄	静岡大学情報学部

P1-24

方向づけ課題が言語陰蔽効果に与える影響

部分／全体的処理の視点からの検討	
志賀 隆士	法政大学大学院

P1-25

再学習と再認の処理の違いについて

シミュレーションモデル EMILE による検討	
月元 敬	東京大学
山田 陽平	名古屋大学

P1-26

再認経験による検索誘導性忘却

Remember—Know 手続きを用いて	
山田 陽平	名古屋大学大学院環境学研究科
月元 敬	東京大学大学院人文社会系研究科

P1-27

非選択項目の手がかり提示が自己選択効果に及ぼす影響

伊藤 真利子	筑波大学
関 那積	筑波大学
井上 和哉	筑波大学
菊地 正	筑波大学

P1-28

光景の個人内典型性がデジャヴ体験の生起に及ぼす影響

Google ストリートビューを用いた検討

関口 貴裕

東京学芸大学教育心理学講座

北村 悠華

東京学芸大学教育心理学講座

P1-29

エピソード記憶の回想が時間的距離の知覚に与える影響

伊藤 友一

名古屋大学

服部 陽介

名古屋大学

川口 潤

名古屋大学

P1-30

Transparency Effect on Korean Compound Word Processing

Kim, Jina

Department of Psychology, Korea University

Nam, Kichun

Department of Psychology, Korea University

P1-31

Effects of meaning and sense of words on semantic ambiguity in lexical decision

Yi, Hoyoung

Department of Psychology, Korea University

Nam, Kichun

Department of Psychology, Korea University

P1-32

第2言語習得過程における日本語、中国語のカテゴリ一群化の検証

榊 祐子

筑紫女学園大学

箱田 裕司

九州大学

P1-33

文の意味的曖昧性が構造的曖昧性の解消と保留に及ぼす影響

井上 雅勝

武庫川女子大学

P1-34

二重課題および原因事象の候補の数が共変関係の評価に与える影響の検討

眞嶋 良全

北海道大学大学院文学研究科

P1-35

The Go/No-Go Lexical Decision Task without Nonword Trials

Yi, Kwangoh

Department of Psychology, Yeungnam University

Bae, Sungbong

Department of Psychology, Yeungnam University

P1-36

何も考えない努力と思考の抑制可能性

野畑 友恵

福岡医療福祉大学

ポスター発表 2（感情・感性・記憶・言語） 5月29日（土）14:30-16:00 大学院棟
ホール

責任在席時間 14:30-15:15（奇数番号）、15:15-16:00（偶数番号）

P2-1

凶器の存在と不快情動が有効視野に及ぼす影響

原田 佑規	九州大学大学院人間環境学府
箱田 裕司	九州大学大学院人間環境学研究院

P2-2

色彩の情動反応におよぼす音楽聴取の効果

福田 容子	静岡大学情報学研究科情報学専攻
漁田 俊子	静岡県立大学短期大学部
漁田 武雄	静岡大学情報学部

P2-3

拍分割を持つフレーズがもたらすリズムキープ感と分割時間の錯覚

天満 達	広島国際大学
荒生 弘史	広島国際大学

P2-4

影文字の印象評価に及ぼす配色の影響

伊師 華江	仙台高等専門学校
片山 一郎	仙台高等専門学校

P2-5

テレビコマーシャル音楽が商品認知に与える影響

望月 愛	相愛大学音楽学部
河瀬 諭	相愛大学音楽学部
	大阪大学大学院人間科学研究科
川口 明日香	相愛大学音楽学部

P2-6

途中停止された動画像の印象と期待感の変化

土田 昌司	明星大学人文学部
-------	----------

P2-7

違和感の日・中・韓・台国際比較

箱田 裕司	九州大学
内野 八潮	九州大学
榊 祐子	筑紫女学園大学
李 光五	嶺南大学校
劉 暢	中国医科大学
中村 知靖	九州大学

P2-8

イラスト化による相貌の形態印象と人格印象の検討

安田 孝	早稲田大学理工学術院
西本 武彦	早稲田大学文学学術院

P2-9

情動誘発音への関上・関下感情馴化の影響

原口 恵	九州大学大学院人間環境学府
山田 祐樹	九州大学大学院人間環境学研究院 日本学術振興会特別研究員
箱田 裕司	九州大学大学院人間環境学研究院

P2-10

高不安者の脅威語への注意バイアスが記憶バイアスに及ぼす影響

注意バイアスと SOA 条件の関連

上田 紋佳	兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科 日本学術振興会
寺澤 孝文	岡山大学大学院教育学研究科

P2-11

におい手がかりが無意図的に想起された自伝的記憶に及ぼす影響

山本 晃輔	奈良教育大学
-------	--------

P2-12

ネガティブ情動が日常記憶に及ぼす抑制効果

杉山 翠	法政大学大学院
越智 啓太	法政大学文学部

P2-13

音読は文章理解に有効か

國田 祥子	中国学園大学
岡 直樹	広島大学

P2-14

LSA に基づく単語間類似性と意味プライミング効果の関係

猪原 敬介	京都大学教育学研究科 日本学術振興会
塩田 真友子	岡山大学社会文化科学研究科
堀内 孝	岡山大学社会文化科学研究科
楠見 孝	京都大学教育学研究科

P2-15

スキーマとターゲット言語化が再認記憶と想起意識に及ぼす影響

山田 涼馬	日本大学大学院文学研究科
巖島 行雄	日本大学文理学部

P2-16

空間的ワーキングメモリに対するプレッシャーの影響

小林 晃洋	専修大学大学院
大久保 街亜	専修大学

P2-17

短期的な順序の記憶における語長の影響：新近性判断課題を用いた検討

都賀 美有紀	立命館大学文学研究科
星野 祐司	立命館大学文学部

P2-18

日本語版リーディングスパンテストにおける4つの得点化法の検討

遠藤 香織	大阪大学大学院人間科学研究科
苅阪 満里子	大阪大学大学院人間科学研究科

P2-19

拡大/縮小運動によって変容する視覚的短期記憶

高橋 純一	東北大学大学院文学研究科 日本学術振興会
河地 庸介	東北福祉大学感性福祉研究所
行場 次朗	東北大学大学院文学研究科

P2-20

表記形態のソースモニタリングにおける処理水準効果

—DRM リストを用いた検討—

生駒 忍	筑波大学
川崎 恵里子	川村学園女子大学

P2-21

視覚的統計学習における刺激呈示順序の影響

西山 めぐみ	名古屋大学大学院環境学研究科
大塚 幸生	名古屋大学大学院環境学研究科
中原 史隆	名古屋大学大学院環境学研究科
川口 潤	名古屋大学大学院環境学研究科

P2-22

認知スタイルは視覚刺激の平均値を抽出する能力に影響するか

富田 瑛智	大阪大学大学院人間科学研究科
前澤 岳史	大阪大学人間科学部
森川 和則	大阪大学大学院人間科学研究科

P2-23

行為の経験が行為の理解に与える影響

—行為・モノ同定課題を用いた検討—

中山 真孝	京都大学教育学研究科
齊藤 智	京都大学教育学研究科

P2-24

テスト直前の教示が情報源帰属に及ぼす影響

中山 友則	中央大学大学院文学研究科
兵藤 宗吉	中央大学文学部

P2-25

身体感覚-視覚クロスモダル空間記憶課題における眼球運動と身体運動による干渉効果

藤木 晶子	北海道大学
菱谷 晋介	北海道大学

P2-26

視覚的ワーキングメモリに対する動機付けの効果

真田 原行	東京大学大学院総合文化研究科
池田 功毅	東京大学大学院総合文化研究科
木村 健太	東京大学大学院総合文化研究科 日本学術振興会
長谷川 寿一	東京大学大学院総合文化研究科

P2-27

挿絵と文章の関連性がマニュアル読解の動機づけに及ぼす影響

島田 英昭	信州大学
-------	------

P2-28

文章理解における最近接領域学習モデルの検討

池田 賢司	名古屋大学
北神 慎司	名古屋大学

P2-29

上位概念レベルにおける画像-単語マッチング

最上位概念共有効果は存在するか？

河原 哲雄	埼玉工業大学
-------	--------

P2-30

自由連想とカテゴリ連想による語想起の抑制

杉島 一郎	仁愛大学
-------	------

P2-31

速読に対するイメージおよびニーズ調査

森田 愛子	広島大学
-------	------

P2-32

断りを入れても長所は変わらない

－談話焦点が人物の好ましくなさに及ぼす効果－

井関 龍太	日本学術振興会 京都大学
楠見 孝	京都大学

P2-33

行為・文一致効果における動詞の役割

平 知宏	京都大学大学院教育学研究科
楠見 孝	京都大学大学院教育学研究科

P2-34

対象物の使用経験の有無が行為文の理解に与える影響

望月 正哉	日本大学大学院文学研究科
内藤 佳津雄	日本大学文理学部

ポスター発表 3 (知覚・社会・動作・神経・発達) 5月30日(日) 15:00-16:30 大学院棟ホール

責任在席時間 15:00-15:45 (奇数番号)、15:45-16:30 (偶数番号)

P3-1

知覚的負荷と課題の難易度が課題無関連刺激の処理に与える影響

守谷 順	日本学術振興会 広島大学
丹野 義彦	東京大学

P3-2

一致試行の出現確率と呈示視野が適合性効果に及ぼす影響

蔵富 恵	愛知淑徳大学大学院心理学研究科
吉崎 一人	愛知淑徳大学コミュニケーション学部

P3-3

高負荷視野は無関連刺激を排除できるか

吉崎 一人	愛知淑徳大学
西村 律子	JST-ERATO 岡ノ谷情動情報プロジェクト
木村 ゆみ	愛知淑徳大学

P3-4

断続音聴取時に生じる運動物体の速度知覚の遅延

柴田 理瑛	東北大学大学院文学研究科 日本学術振興会
斉藤 昂之	東北大学文学部
行場 次朗	東北大学大学院文学研究科

P3-5

速度錯覚における視聴覚相互作用の検討

竹島 康博	東北大学大学院文学研究科
行場 次朗	東北大学大学院文学研究科
柴田 理瑛	東北大学大学院文学研究科 日本学術振興会

P3-6

非注意による見落としにおける意味情報の役割

鈴木 玄	専修大学大学院文学研究科心理学専攻
大久保 街亜	専修大学大学院文学研究科心理学専攻

P3-7

テクスチャの色彩の有無がスケール感の評価に与える影響

佐々木 康成	同志社大学
坂東 敏博	同志社大学

P3-8

Ebbinghaus の円対比錯視に及ぼす触覚情報の効果

望月 登志子	日本女子大学人間社会学部心理学科
--------	------------------

P3-9

時間知覚に与える個人差の影響

小野 史典	東京大学
堀井 幸子	東京大学
渡邊 克巳	東京大学
	科学技術振興機構
	産業技術総合研究所

P3-10

写真のミニチュア効果と視覚因

錢 昆	九州大学大学院人間環境学府
河邊 隆寛	九州大学大学院高等研究院
山田 祐樹	九州大学大学院人間環境学研究院
	日本学術振興会
三浦 佳世	九州大学大学院人間環境学研究院

P3-11

共感覚事象に関する調査研究

米川 勉	福岡女学院大学
------	---------

P3-12

右耳優位性とワーキングメモリ容量の関係

—両耳異聴課題での検討—

河村 民平	畿央大学大学院健康科学研究科
	福井総合クリニック リハビリテーション科
森岡 周	畿央大学大学院健康科学研究科

P3-13

注意の焦点外の視線方向は知覚されるか？

—サイモン効果による検討—

徳永 智子	広島大学大学院教育学研究科
宮谷 真人	広島大学大学院教育学研究科

P3-14

テキストコミュニケーションにおける感情伝達に背景画の及ぼす影響

加藤 尚吾	東京女子大学現代教養学部
千田 国広	東映アニメーション研究所
加藤 由樹	東京福祉大学教育学部

P3-15

都道府県に対する観光イメージ

岡部 康成	浜松学院大学
-------	--------

P3-16

レジリエンス尺度における項目の識別力と境界特性値

段階反応モデルを用いた検討

井隼 経子	九州大学
中村 知靖	九州大学

P3-17

嘘つきの代償

—嘘の露見が弁解の効能に与える影響—

菊地 史倫	日本学術振興会 東北大学大学院文学研究科
佐藤 拓	新潟リハビリテーション大学

P3-18

課題の目標設定が遂行時間の予測に及ぼす影響

—短時間の課題における実験的検討—

田中 麻紗子	東京大学大学院教育学研究科
--------	---------------

P3-19

説明課題中の身振り頻度に及ぼす聞き手条件の影響

幼稚園年長児、小学校5年生、大学生における映像的手振りの変化について

森 和彦	秋田大学
------	------

P3-20

避難情報の格上げを明示することの効果

田中 孝治	関西大学大学院総合情報学研究科
加藤 隆	関西大学総合情報学部

P3-21

肩関節痛が手のメンタルローテーションに及ぼす影響

二田 正利	熊本大学大学院社会文化科学研究科
積山 薫	熊本大学大学院社会文化科学研究科

P3-22

抽象キャラクターによる発話志向態度の表現と理解

「話した〜い」「・・・聞きたくない」の表現を探る

湯浅 将英	東京電機大学
木村 幸士	東京電機大学
徳永 弘子	東京電機大学
武川 直樹	東京電機大学
寺井 仁	東京電機大学

P3-23

ブロック内要因としての ISI が反応時間に及ぼす影響(5)

松井 孝雄	中部大学
水野 りか	中部大学

P3-24

実行機能質問紙 (Executive Functions Questionnaire) 作成の試み

ー性格特性、認知的熟慮性および失敗傾向との関係ー

関口 理久子	関西大学社会学部
山田 尚子	甲南女子大学人間科学部
紺田 広明	関西大学大学院心理科学研究科
中山 皓平	関西大学大学院心理科学研究科

P3-25

意味情報活性の半球非対称性

ーSOA 条件間の比較ー

加藤 公子	国立長寿医療センター研究所
沖田 庸嵩	愛知淑徳大学コミュニケーション学部

P3-26

グリッド細胞表現に基づく他者視点シーン生成の計算理論

佐藤 直行	公立はこだて未来大学システム情報科学部複雑系科学科 理化学研究所脳科学総合研究センター創発知能ダイナミクス研究チーム
-------	---

P3-27

閾下刺激が展望的記憶に与える影響とその神経基盤

橋本 照男	理研 BSI 象徴概念発達研究チーム
梅田 聡	慶應義塾大学心理学専攻
小嶋 祥三	慶應義塾大学心理学専攻

P3-28

文字認知過程の初期判断と個人差

脳磁図による研究

大北 葉子	東京医科歯科大学
-------	----------

P3-29

注意欠陥児（ADD）における注意の特性

TAP(Tests for Attentional Performance)を用いて

宋 永寧	九州大学人間環境学府
箱田 裕司	九州大学人間環境学府

P3-30

プランニングにおける認知的負荷と加齢の影響

朝食課題を用いた検討

浅野 昭祐	中央大学
原田 悦子	法政大学
須藤 智	目白大学

P3-31

家族構成が高齢者の情報化社会認識に与える影響

森 健治	法政大学大学院人間社会研究科
原田 悦子	法政大学 社会学部

P3-32

買い物に関する自伝的記憶の特性 III

高齢者における印象に残る買い物とは？

秋山 学	神戸学院大学人文学部人間心理学科
清水 寛之	神戸学院大学人文学部人間心理学科

P3-33

買い物に関する自伝的記憶の特性_IV_

ー記憶特性質問紙（MCQ）への高齢者と大学生の反応ー

清水 寛之	神戸学院大学
秋山 学	神戸学院大学